



加工施設

施設名		平成 4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
(株)グローバル・ ニュークリア・フュエル・ ジャパン	当該年度の発生量(本相当)	659	635	578	467	638	525	507	229	142	238
	当該年度の減少量	0	0	0	0	0	*2 -53	*2 17	*2 205	156	123
	年度末の保管量	9,248	9,883	10,461	10,928	11,566	12,144	12,634	12,658	12,644	12,759
	貯蔵設備容量(本)	14,140	14,140	14,140	14,140	16,260	16,260	16,260	16,260	16,260	16,260
三菱原子燃料(株)	当該年度の発生量(本相当)	550	673	490	424	382	498	502	549	1,307	1,083
	当該年度の減少量	208	286	217	299	288	189	257	480	1,250	1,064
	年度末の保管量	8,440	8,827	9,100	9,225	9,319	9,628	9,873	9,942	10,031	10,050
	*3 貯蔵設備容量(本)	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
原子燃料工業(株) 東海事業所	当該年度の発生量(本相当)	416	480	491	597	475	474	626	525	640	529
	当該年度の減少量	293	336	330	310	376	359	329	356	411	619
	年度末の保管量	3,725	3,869	4,030	4,317	4,416	4,531	4,828	4,997	5,177	5,087
	*4 貯蔵設備容量(本)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	8,500	8,500	8,500	8,500
原子燃料工業(株) 熊取事業所	当該年度の発生量(本相当)	415	417	552	252	232	381	194	349	512	468
	当該年度の減少量	627	399	620	203	237	455	119	28	0	0
	年度末の保管量	3,058	3,076	3,008	3,057	3,052	2,978	3,053	3,374	3,886	4,354
	貯蔵設備容量(本)	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	7,400	7,400
核燃料サイクル開発機構 人形峠環境技術センター	当該年度の発生量(本相当)	9	28	73	38	39	14	40	63	31	10
	当該年度の減少量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	年度末の保管量	56	84	157	195	234	248	288	351	382	392
	*5 貯蔵設備容量(本)	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800
日本原燃(株) 濃縮・埋設事業所 (加工施設)	当該年度の発生量(本相当)	171	257	241	238	465	623	472	345	379	379
	当該年度の減少量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	年度末の保管量	201	457	*1 697	935	*1 1,399	2,022	2,494	*1 2,838	*1 3,216	3,595
	貯蔵設備容量(本)	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700
合 計	当該年度の発生量(本相当)	2,220	2,490	2,425	2,016	2,231	2,515	2,341	2,060	3,011	2,707
	当該年度の減少量	1,128	1,021	1,167	812	901	950	722	1,069	1,817	1,806
	年度末の保管量	24,728	26,196	*1 27,453	28,657	*1 29,986	31,551	33,170	*1 34,160	*1 35,336	*1 36,237
	貯蔵設備容量(本)	41,640	41,640	41,640	41,640	43,760	43,760	47,260	47,260	49,260	49,260

\*1 前年度末累積保管量に当該年度発生量を加えた量と一致しないのは、換算後の端数処理による誤差である。

\*2 平成9年度からの減少量は、スラッジ乾燥による減容処理を実施している。

：減少量(減量) = (貯蔵庫から取出したスラッジ量 - 減容処理後のスラッジ量) - 発生スラッジ量

\*3 平成3年度から平成11年度には、固体廃棄物に可燃物・難燃物は含まない。

\*4 平成3年度から平成11年度までは、液体廃棄物を含む。

\*5 固体廃棄物には、可燃物・難燃物は含まない。

## 再処理施設

施設名		平成 4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
核燃料サイクル開発機構 東海事業所 (再処理施設)	当該年度の発生量(本相当)	4,179	3,860	4,905	2,858	3,132	2,015	4,891	1,944	1,286	1,223
	当該年度の減少量	0	0	0	8	20	0	0	0	0	0
	年度末の保管量	53,861	57,721	62,626	65,476	68,588	70,603	75,494	77,438	78,724	79,947
	*1 貯蔵設備容量(本)	101,820	101,820	102,460	102,460	102,460	102,460	102,460	102,460	102,460	102,460
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)	当該年度の発生量(本相当)	-	-	-	-	-	-	0	232	544	728
	当該年度の減少量	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0
	年度末の保管量	-	-	-	-	-	-	0	232	776	1,504
	*2 貯蔵設備容量(本)	-	-	-	-	-	-	11,350	11,350	11,350	11,350
合 計	当該年度の発生量(本相当)	4,179	3,860	4,905	2,858	3,132	2,015	4,891	2,176	1,830	1,951
	当該年度の減少量	0	0	0	8	20	0	0	0	0	0
	年度末の保管量	53,861	57,721	62,626	65,476	68,588	70,603	75,494	77,670	79,500	81,451
	貯蔵設備容量(本)	101,820	101,820	102,460	102,460	102,460	102,460	113,810	113,810	113,810	113,810

\*1 ガラス固化体を除く。なお、平成13年度末までにガラス固化体は貯蔵設備容量420本に対して127本が保管されている。

\*2 貯蔵設備容量には、廃樹脂貯槽(約190m<sup>3</sup>/基×3基)分の2,850本相当分を含む。

廃棄物埋設施設、廃棄物管理施設

施設名		平成 4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
日本原燃(株) 濃縮・埋設事業所 (廃棄物埋設施設)	当該年度の発生量(本相当)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当該年度の減少量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	年度末の保管量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貯蔵設備容量(本)	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
日本原燃(株) 再処理事業所 (廃棄物管理施設)	当該年度の発生量(本相当)	-	-	-	77	87	88	56	40	32	36
	当該年度の減少量	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0
	年度末の保管量	-	-	-	77	164	252	308	348	380	416
	貯蔵設備容量(本)	-	-	-	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
日本原子力研究所 東海研究所 (廃棄物埋設施設) *1	当該年度の発生量(本相当)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	当該年度の減少量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年度末の保管量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	貯蔵設備容量(本)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日本原子力研究所 大洗研究所 (廃棄物管理施設) *2	当該年度の発生量(本相当)	-	-	-	(-)	(75)	(42)	(44)	(61)	(97)	(62)
	当該年度の減少量	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0
	年度末の保管量	-	-	-	(-)	(75)	(117)	(161)	(222)	(319)	(381)
	貯蔵設備容量(本)	-	-	-	21,096	21,854	22,307	22,935	23,551	24,589	25,343
合 計 *3	当該年度の発生量(本相当)	0	0	0	761	845	541	684	656	1,070	790
	当該年度の減少量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	年度末の保管量	0	0	0	21,173	22,018	22,559	23,243	23,899	24,969	25,750
	貯蔵設備容量(本)	80	80	80	37,150	37,150	37,150	37,150	37,150	37,150	37,150

\*1 自らの施設からは、放射性固体廃棄物の発生はない。

\*2 ( )の数値は当該施設からの発生量で下段の数値の内数、下段の数値は管理施設での管理量合計を示す。

\*3 当該年度の発生量には、大洗研究所の管理廃棄物の発生量を含む。